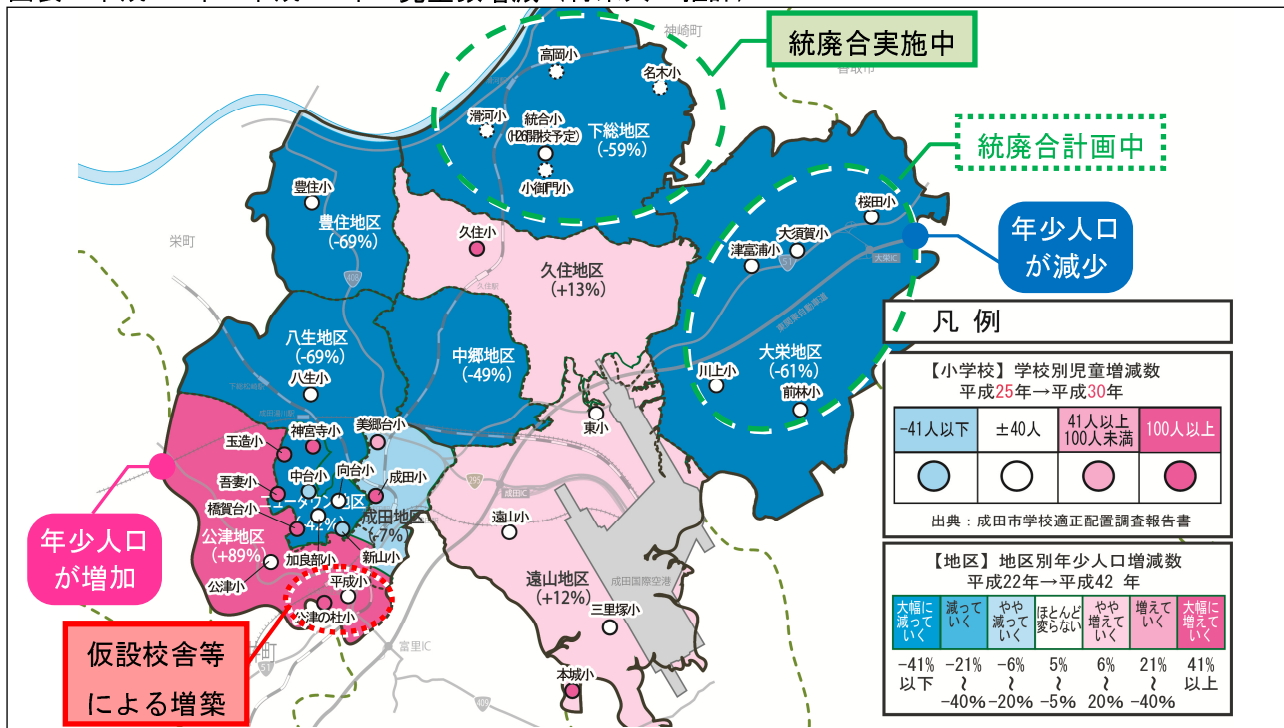


＜小学校・中学校＞ 小学校 29 校、中学校 9 校の合計 38 校

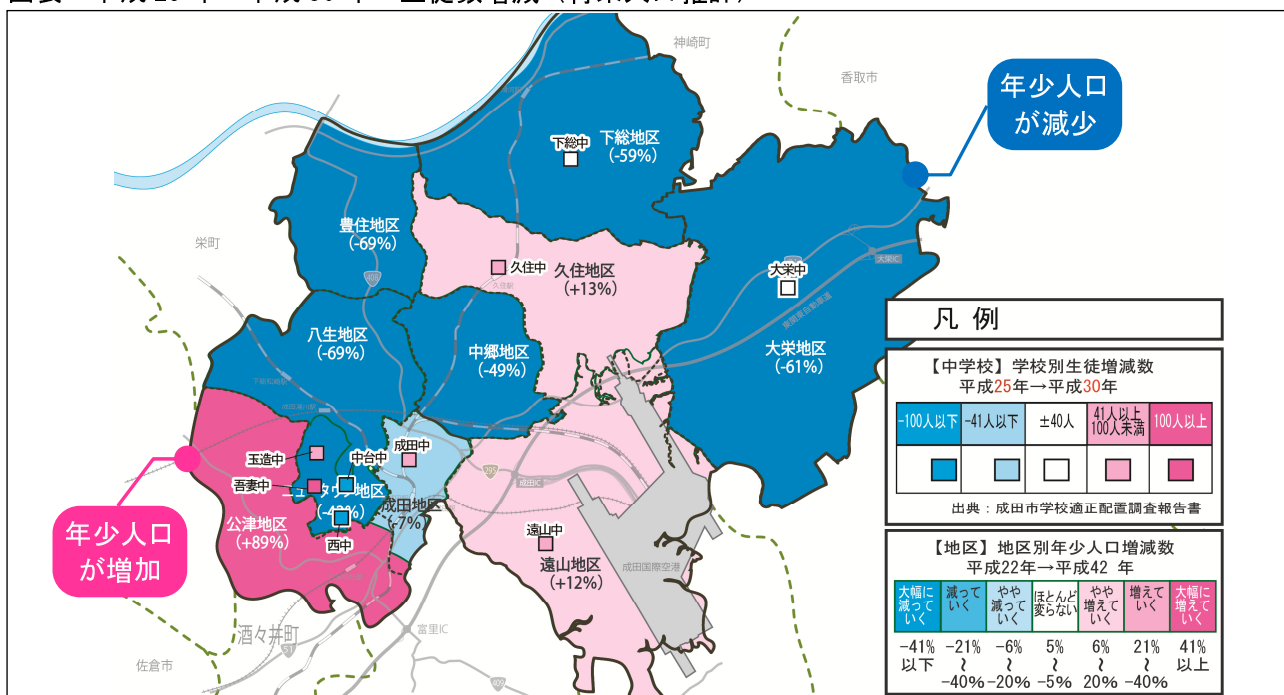
児童生徒数の増加予測の地区では、学校の新設や仮設校舎の増築等を実施しているが、児童生徒数の減少予測の地区では、既に統廃合が始まっており、**市内で状況が二極化している。**

平成 24 年から平成 44 年の地区別年少人口の変化をみると、大幅な減少が予測されている八生・豊住・中郷地区をはじめ、下総・大栄地区では、既に統廃合が始まっています。その一方で、今後も大幅な増加が予測されている公津地区では、新設や仮設校舎等による増築を行っており、同じ市内でも、学校の状況が二極化している状況です。

図表 平成 25 年－平成 30 年 児童数増減（将来人口推計）



図表 平成 25 年－平成 30 年 生徒数増減（将来人口推計）



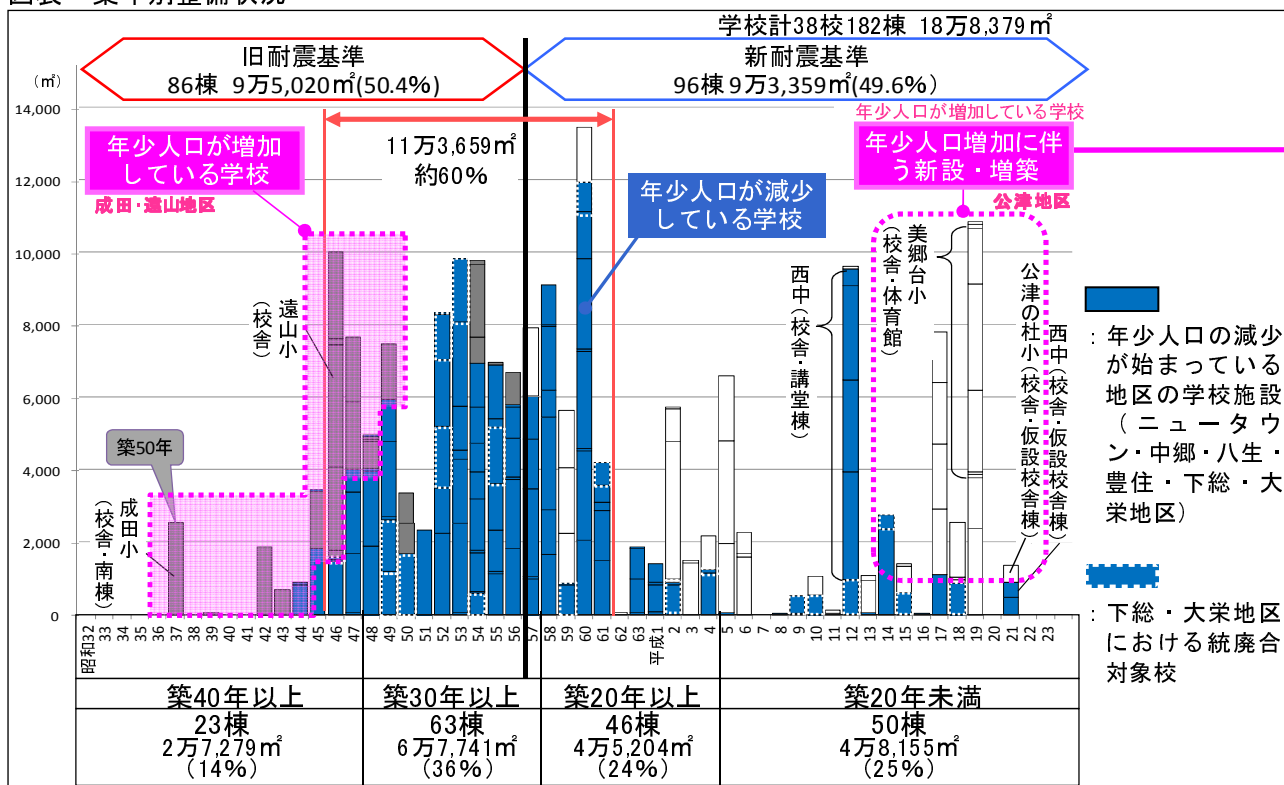
児童生徒数の増加予測の地区と、減少予測の地区で抱えている問題が異なります。

地区の特性によって、取り組む方針が異なり、それぞれに改善の方針を検討する必要があります。

年少人口増加予測の地区の学校は特に老朽化が進行しており、児童生徒数の増加と建物の老朽化対策を同時に行う必要があります。

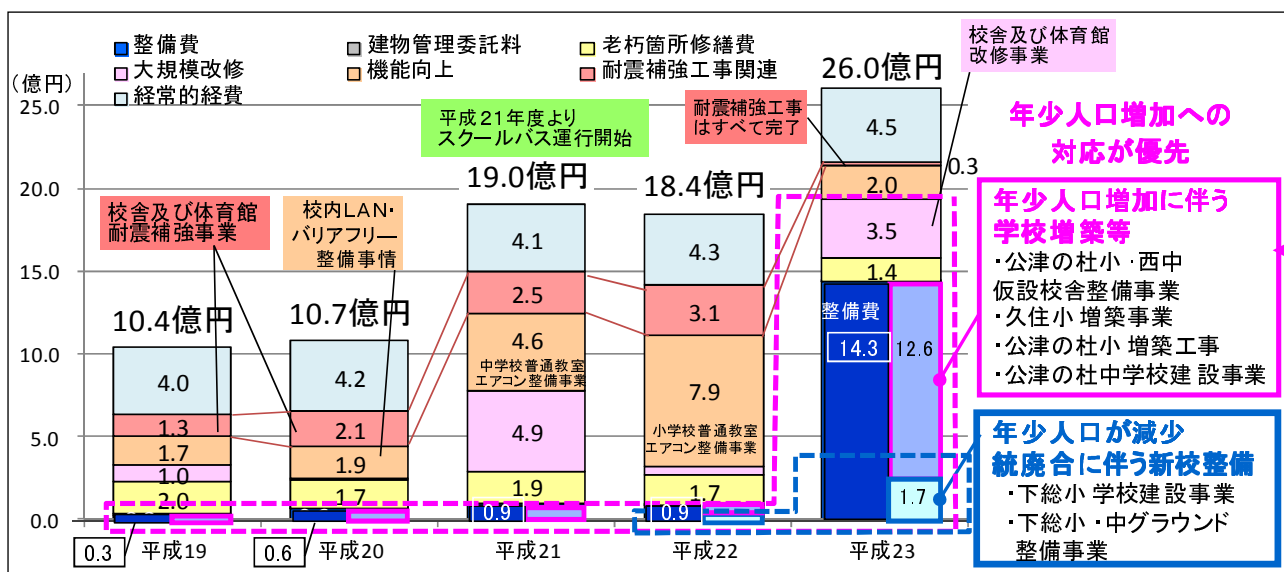
年少人口が減少している地区では統廃合が始まっており、今後統廃合を進めながら、老朽化対策を図る必要があります、それぞれ、地区の特性によって、取り組む方針が異なることが分かります。

図表 築年別整備状況



平成22年度までは、校舎及び体育館の耐震診断及び耐震補強工事や校舎のバリアフリー整備事業等が中心だったが、平成23年度は年少人口増加に伴う学校増築等の整備を優先しています。

学校教育費のうち、光熱水費・保守点検費・建設整備費等の施設に関する「施設関連経費」は、約26億円(教育費の約33%)で、1校当たり7千万円となっています。



<図書館> 図書館 1 館、図書館分館 14 館の計 15 施設

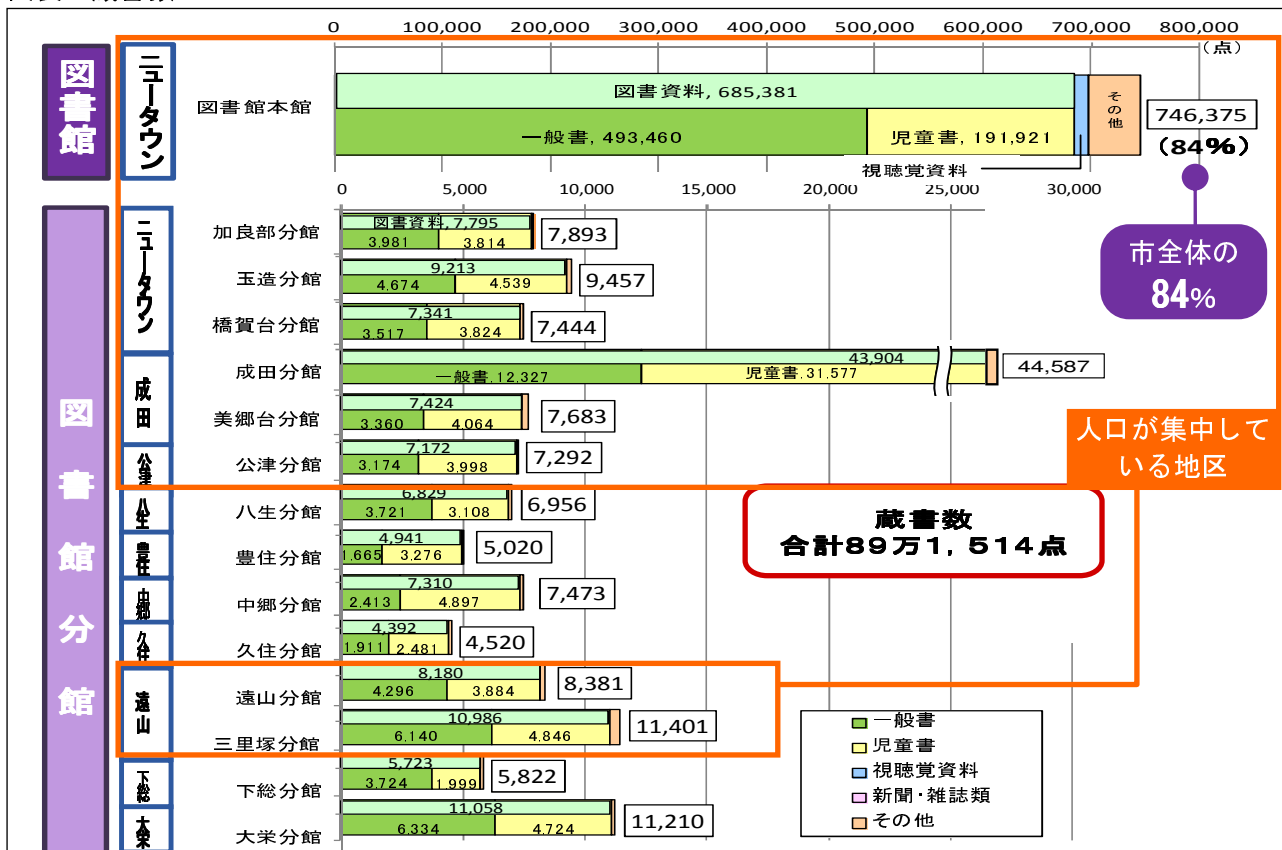
成田市の図書館サービスは、成田地区、ニュータウン地区、遠山地区のように多くの施設が整備されている一方、1 地区に 1 図書館分館設置の地区があるなど、地区によって整備状況が異なっている。

公津地区には、平成 25 年 7 月から新たに公津の杜分館が整備された。

図表 施設一覧

	地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	構造	併設施設					備考
							支所・分室	公民館	コミュニティ センター	地区会館	子育て支 援施設	
図書館 図書館分館	ニュー タウン	1 成田市立図書館本館	赤坂1-1-3	5,179.20	昭和59	SRC造+RC造						中央公民館隣接
		2 加良部分館	加良部3-4-1	61.00	平成3	RC造		●				加良部公民館
		3 玉造分館	玉造7-21	52.90	昭和59	RC造		●				玉造公民館内
		4 橋賀台分館	橋賀台1-43-1	63.60	昭和58	RC造		●				橋賀台公民館内
	成田	5 成田分館	田町299-2	288.50	昭和60	RC造		●				成田公民館内
		6 美郷台分館	美郷台3-3-9	56.00	平成3	RC造				●		美郷台地区 会館内
	公津	7 公津分館	宗吾1-839-1	56.00	平成1	RC造		●				公津公民館内
	八生	8 八生分館	松崎317	61.20	昭和63	RC造		●				八生公民館内
	豊住	9 豊住分館	北羽鳥2024-1	53.50	昭和59	RC造		●				豊住公民館内
	中郷	10 中郷分館	赤荻1587-1	57.60	平成1	RC造		●				中郷公民館内
	久住	11 久住分館	幡谷922-2	50.00	昭和58	RC造		●				久住公民館内
	遠山	12 遠山分館	大清水48-7	61.80	平成8	RC造	●	●				遠山公民館内
		13 三里塚分館	三里塚2	65.00	平成17	RC造			●			三里塚コミュニ ティセンター内
	下総	14 下総分館	高岡1435	71.40	昭和49	RC造		●				下総公民館内
	大栄	15 大栄分館	松子393	112.00	平成3	RC造		●				大栄公民館内
小 計				6,289.70	—							
	公津	16 公津の杜分館	公津の杜4-8	1,011.03	平成25 (供用予定)	RC造			●		●	公津の杜コミュニ ティセンター内 (H25.7月供用開始)
				7,300.73	—							

図表 蔵書数



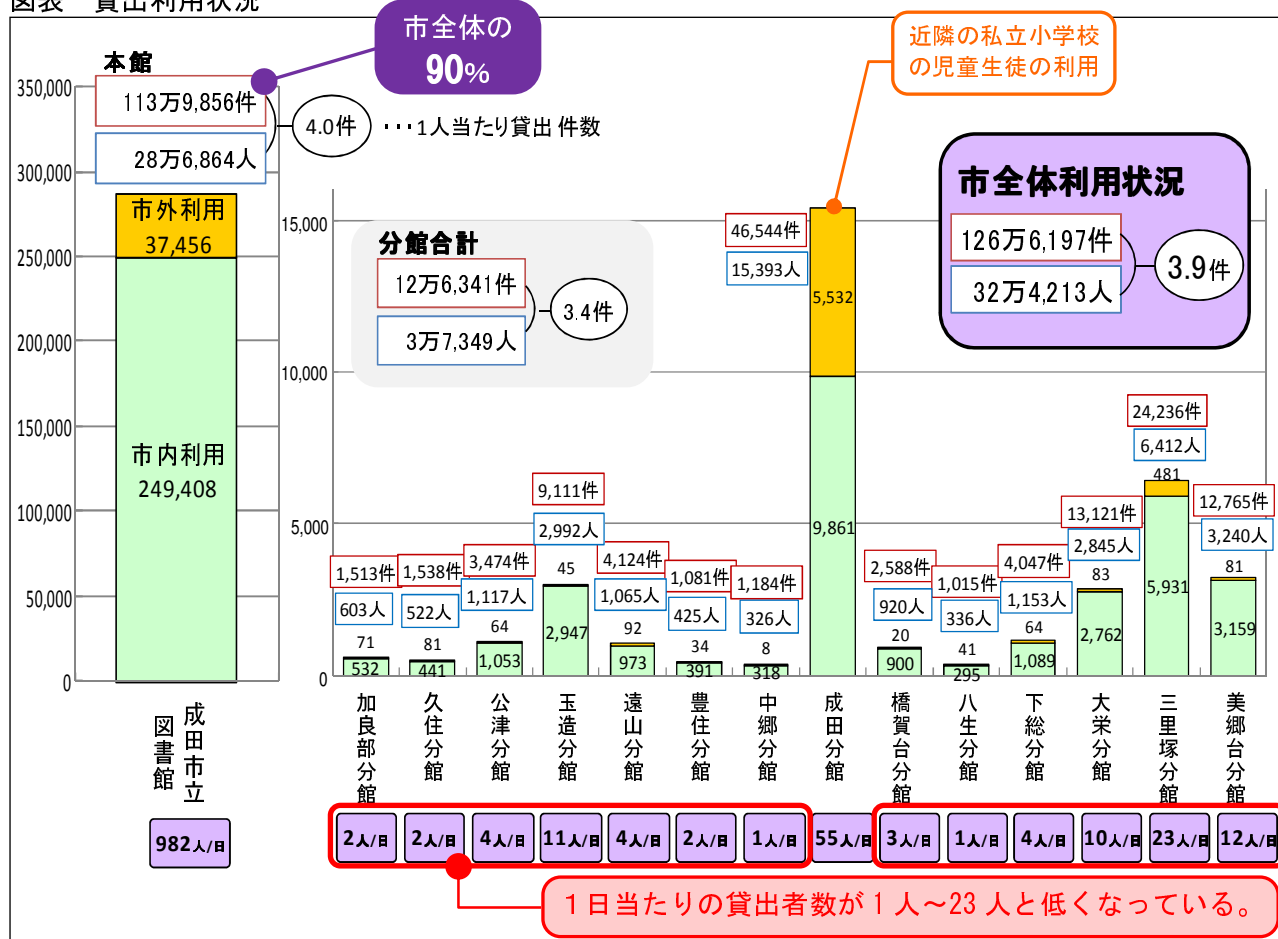
図書館本館の貸出利用が、市全体の 90%を占めている。

図書館分館の貸出利用は、成田分館を除き、1日当たり1人から23人と少ない。

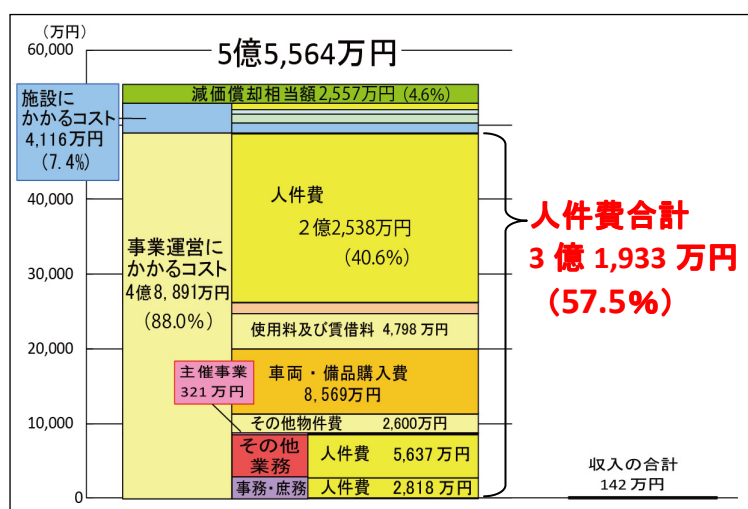
図書館本館では、貸出利用だけでなく、閲覧や学習等の滞在型の利用が増加している。

市全体の貸出件数は年間 126.6 万件です。そのうち、図書館本館は 114.0 万件と市全体の約 90%を占めています。図書館分館は、近隣の私立小学校の児童生徒が利用している成田分館を除き、1日当たり1人から23人と低くなっています。

図表 貸出利用状況



図書館全施設の年間トータルコストは、5億5,564万円で、貸出1件当たり約439円/件かかっている。今後窓口業務の改善や利用機能の見直し等、効率的・効果的な管理運営を図る必要がある。



図書館全施設の年間トータルコストのうち、窓口業務や主催事業の開催等を行っている一般職員や非常勤職員の人件費が約3.2億円とトータルコストの約58%を占めています。

さらに、今後は滞在型利用に対応した機能の導入等の検討も必要となっており、窓口業務の改善・効率化や利用ニーズに応じた新たなサービス提供等により、同サービスの質を落とすことなく費用削減を行うなどの検討が必要です。